

## 教育プログラムの概要及び採択理由

機 関 名	新潟大学	申請分野(系)	医療系
教育プログラムの名称	プロジェクト所属による大学院教育の実質化		
主たる研究科・専攻名	医歯学総合研究科・口腔生命科学専攻		
(他の大学と共同申請する場合の大学名、研究科専攻名)			
取 組 実 施 担 当 者	(代表者) 前田 健康		

### [教育プログラムの概要]

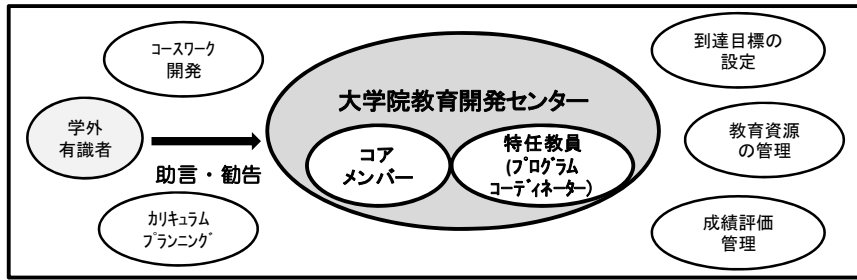
現行の大学院カリキュラムは研究科の理念・目標の下、立案、運営されているが、その教育内容・方法は各指導教員にゆだねられてきた。一方、歯科医師臨床研修の必修化により、医歯学総合研究科・口腔生命科学専攻(歯学系)の入学希望者の多くが臨床志向となり、大別すると①大学等の教育研究機関や国際・地域歯科保健機関で**歯科医療・医学のリーダーとして自立できることを望む学生**と②臨床研修に継続した**一般歯科医師として必要な特定分野の教育を望む学生**となっている。本プログラムでは専攻設置の目的である「科学的基盤をもち超高齢社会で指導者となる高度医療専門職業人」の育成を目指すために、口腔生命科学専攻内に、大学院カリキュラムの立案・実施・管理および教育指導体制を構築する**大学院教育開発センター**を設置し、このセンターの一元管理のもと、大学院歯学教育の実質化を図る。教育課程を①研究者並びに歯科医療・医学の指導者養成を目的とする少人数の学生向けの**新教育課程**である「**リーダー養成コース**」と②従来型教育課程を基盤とした「**主専攻展開コース**」に分け、本プログラムでは学生の所属を、教員個人指導になりがちであった**分野所属型から本専攻で推進している3大研究プロジェクトチーム**とし、ここで複数の指導教員による**学際的教育を推進**する。これらのことは現在専攻内で学際的に行われている研究活動を大学院教育とリンクさせ、**大学院教育の組織展開**をはかることを意味する。

本教育課程は、両コースとも、基礎学力と基本技術の養成を目指したコースワーク、英語教育、基礎特別演習からなる**初期教育課程**(両コース共通)と両コース共通科目とコース独自の分野横断的(学際的)な講義・演習を展開する**後期教育課程**からなる。初期教育課程が修了後に指導教員チームを作成し、研究課題を決定したのち、学生の希望と指導教員の協議により、個別カリキュラムを編成する。カリキュラム編成にあたっては大学院教育開発センターの助言のもと段階的履修が可能なカリキュラムとする。講義・演習のカリキュラム編成の基本は**基礎・臨床融合型、学際的教育内容**とし、プロジェクト研究チーム所属教員が講義・演習を行う。**臨床実績の評価**のために、ケースごとのレポートの作成を義務づけ、修了時の認定書授与の基礎資料とし、修了時に臨床能力を担保した認定書を授与する。さらに、TA・RA業務を担わせることで教育・研究活動の実績を積むことにより**教育・研究者マインドを涵養するプログラム**、マネジメント・医療倫理・リーダーシップ・コーチングを主体とする**スキルアッププログラム**、**エクスターン支援プログラム**を準備する。これらのプログラムによる蓄積ポイントにより**学位論文を提出できる権利を獲得するDoctoral candidate制度**を導入する。大学院教育開発センターの厳格なカリキュラム・成績管理、到達目標の設定の下、修了必要単位を取得したDoctoral candidateは公開による予備審査を経て、学外協力者を含めた主査・副査による学位審査を受ける。この制度の導入は教育課程上で3回の評価を受けることになる(**大学院教育の実質化**)。また、これまで学部教育中心に活動してきたFDを その内容を大学院に特化したものに転換するとともに、FD委員、教員のスキルアップをはかる。本プログラムの特色として、

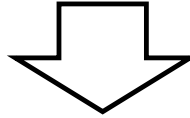
- ① 大学院教育開発センターによるカリキュラム開発、到達目標の設定、成績管理を含め大学院教育の一元管理
- ② 学生の配属を教員個人の指導になりがちな分野所属型からプロジェクト所属とし、複数指導体制による学際的教育の実施
- ③ コースワーク、英語教育等の基礎教育の充実による基礎学力と基本技能の養成
- ④ TA・RA経験、スキルアッププログラム、臨床実績をポイント化し、履修状況とともに判断し、学位論文を提出するための要件の規定(Doctoral candidate)
- ⑤ センターのもとでの厳格な成績管理ならびに公開制を原則とした学位審査の実施
- ⑥ 認定医・専門医資格取得のための高度な臨床技術のカリキュラム展開と実績による認定書の授与
- ⑦ 学務情報システム「学生カルテ」によるポートフォリオを用いた履修・習得状況の把握
- ⑧ このプログラムは臨床志向の学生向けであるが、基礎研究者志向の学生、歯科医師免許を有しない学生にも応用可能 があげられる。

新潟大学:プロジェクト所属による大学院教育の実質化

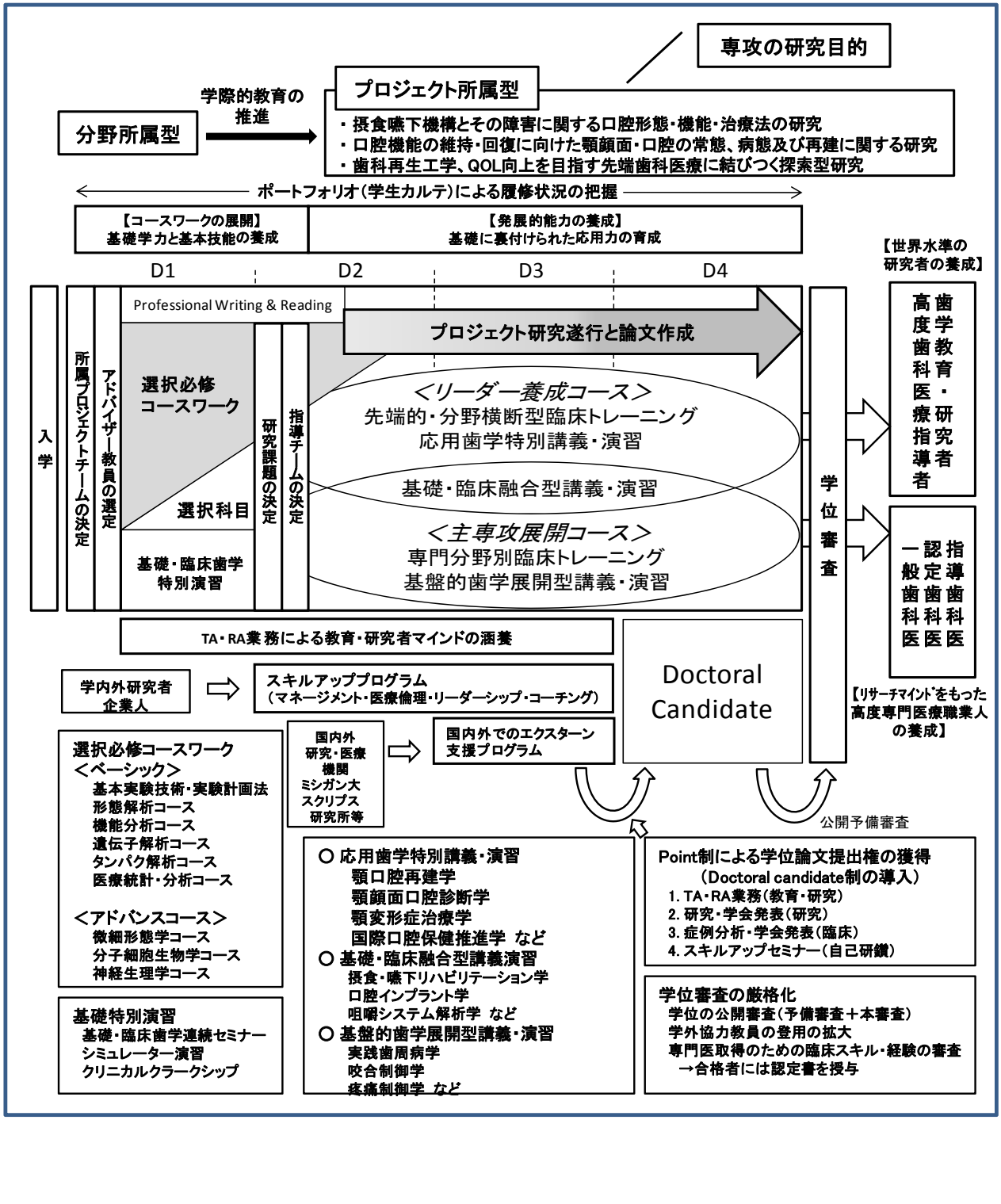
履修プロセスの概念図 (履修指導及び研究指導のプロセスについて全体像と特徴がわかるように図示してください。)



大学院教育の効果的管理  
Effective Management



大学院教育の質の担保  
Quality Assurance



<採択理由>

大学院教育の実質化の面では、大学院生も参加した積極的なファカルティ・ディベロップメントの実施や厳格な成績評価、他大学からの入学者に対する補完教育等の配慮がなされている点は高く評価できる。また、大学院教育開発センターによる教育指導体制の強化が予定されている点も評価できる。

教育プログラムについては、教員主導の教育からプロジェクト所属型の教育への転換が計画され、「世界水準の歯学研究者」と「リサーチマインドをもった高度専門医療職業人」という2種類の人材養成目的を掲げ、それぞれ「リーダー養成コース」と「主専攻展開コース」の2つのコースを設定して両コースに共通の初期教育課程を設けて基礎的素養を涵養するとともに、各大学院生の目的に応じた個別カリキュラムの設定が行われ、きめ細かい履修指導が行われる取組となっており、大学院教育の実質化に資することが期待できる。また、本教育プログラムの大学全体の中での位置付けも明確にされており、全学的な支援体制が計画されていることから、今後の展開が大いに期待できる。